

## ●緊急地震速報を利用した「ショート訓練」実践例

### (1)概要

緊急地震速報をより効果的に活用し、適切な退避行動を児童生徒に身に付けさせるためには、児童生徒の退避に関する知識を常にリフレッシュさせることが重要です。

「ショート訓練」とは、朝の会やSHR(ショートホームルーム)、休み時間等を利用し、緊急地震速報のチャイム音を利用した退避行動のみを実践する訓練です。

### (2)効果

ショート訓練を定期的実践した熊谷市内のモデル校では、チャイム音を聞いた児童生徒が、慌てずに、その場に応じた適切な退避行動(机の下にもぐる、落ちてこない・倒れてこない安全な場所へ移動)が機敏にとれる成果が得られています。

また、ショート訓練を重ねることにより、訓練時間を事前に告知しない(抜き打ち)状況においても、自分の判断で適切な退避行動がとれるなど、児童生徒及び教職員の防災意識の向上にも寄与します。

### (3)導入

ショート訓練を導入する場合、通常の避難訓練とは異なり、校庭等への避難行動は行いませんので、授業時間の調整等も必要なく、短時間かつ簡単に実施することが可能です。

### (4)実践例

学 校 名:熊谷市立吉見小学校(モデル校)

訓練目的:授業中、休み時間、清掃時間等を利用してショート訓練を定期的実施することで、予告なしの訓練においても自らの判断で、その場に応じた適切な退避行動がとれる児童を育てる。

訓練回数:毎月(9月以降～月1回)

### ●訓練風景



校庭での避難



廊下での避難